大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊大老連

平成29年　５月号
第706号　毎月１日発行
平成29年（2017年）５月１日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター３階
発行所　一般社団法人　大阪市老人クラブ連合会
電　話　事務局　06(4304)8555
編集室　06(4304)8556
ＦＡＸ　06(4304)8557

大老連のシンボル「陽光桜」が咲き誇る

今年も会員のご健康とご長寿を祈る

大老連の結成50周年記念事業として、平成19年10月に、大阪市北区の扇町公園内に植樹された３本の「陽光桜」が、今年も見事に咲き誇り市民の憩の場となっています。ぜひ一度、出かけて見ませんか。

（４月４日撮影）

北区「扇町公園」

平成29年度大阪市当初予算

大阪市　３兆８３４１億円

健康局と福祉局　総額５９９５億円

大阪市の平成29年度の当初予算は、総額3兆8341億円（一般会計1兆7627億円）で、前年度に比べて1368億円の増額（一般会計1118億円の増額）となりました。一般会計当初予算のうち、健康局と福祉局の当初予算は、総額5995億円で、前年度に比べて79億円の増額となり、大阪市当初予算の34・0％を占めています。

大阪市福祉局高齢者施策部いきがい課関連の当初予算の主な事業名は、次のとおりです。

▽老人福祉センター運営費
▽地域高齢者活動拠点施設（老人憩いの家）運営費
▽老人クラブ事業
▽敬老優待乗車証交付事業
▽高齢者入浴利用料割引事業
▽高齢者福祉月間事業
▽全国健康福祉祭選手団派遣事業
▽高年齢者就業機会確保事業

平成29年度　大阪市の当初予算編成方針

本格的な少子高齢・人口減少社会が到来し、飛躍的な経済成長が見込めない中、多様化する市民ニーズに速やかに応えていくためには、安定した財政基盤を構築していく必要がある。

そこで、予算の編成にあたっては、市民感覚をもって行財政改革を徹底的に行い、補てん財源に依存することなく収入の範囲内で予算を組むことを原則とするなど、将来世代に負担を先送りすることのないよう、財政健全化に着実かつ積極的に取り組むとともに、限られた財源のなかで一層の選択と集中を全市的に進めることとしている。

こうした考え方のもと、「市民サービスの拡充」と「大阪の改革と成長」という方向性を基本に、幼児教育費の無償化をはじめとした子育て・教育環境の充実や、真に支援が必要な方へのサービス提供など暮らしを守る福祉等の向上、各区による特色ある施策の展開を推進していく。

あわせて、「大阪の成長戦略」の実行や、統合型リゾート（IR）や2025年の日本万国博覧会の誘致、うめきた2期区域のまちづくりなど都市インフラの充実、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた防災・減災対策、観光産業など成長産業の育成を、府・市一体で展開していく。

一方、ICTを活用したサービス向上や事務処理の効率化、経費削減や収入の確保など質の高い行財政運営や、官民連携を推進するなど、新たな価値を生み出す市政改革に取り組むとともに、区長・局長マネジメントのもと、PDCAサイクルを徹底し、歳出・歳入両面に渡っての更なる自律的な改革を行うことにより、行財政改革を強力に推進していく。

これらの取り組みにより、将来にわたり活気ある豊かな大阪をめざす。（大阪市ホームページより）

名誉教授ってなに…ある定年退職

関西学院大学名誉教授　牧里　毎治

この3月末をもって関西学院大学を定年退職した。教職歴40年はあっという間という感じもしないではないが、振り返ってみると想い出はいっぱい詰まっている。多くの私立大学は65歳がいちおうの定年で、そのあと特任教授として毎年契約更新で70歳まで大学院授業を担当するというのが通常の姿である。我が大学は68歳が定年で、後は非常勤講師として大学の授業科目を担当するか、名誉教授となって、大学に貢献する。名誉教授という誉れ高き称号だが、本当に名前だけで、個人研究室があるわけもないし、お手当があるわけでもない。せいぜい大学図書館を自由に使えるくらいのものだろうか。

ついでにといっては失礼かもしれないが、客員教授とか特任教授とか、最近は特命教授というのもあるそうだが、一般の方々にはその違いがよくわからない。客員教授というのは、まさしく専門分野で学問的功績のある教授が招かれてなる身分で、所属大学との兼務も可能である。客員教授は有給の場合と無給の場合があり、通常、なにがしかの授業を担当し、または共同研究の一員となって活躍する。特任教授は、

随意随想

すでに言及したように所属大学で長く勤めた教授が定年後も雇用延長して授業しているようなもので、年金をもらえる年齢になるので手当はかなり減給される。特命教授は必ずしも高齢教授が着任するとは限らないが、大学が特別に強化したい重点事業に専門知識の豊富な教授を招聘し雇い入れる場合が特命教授になるのだろう。大学もさまざまな専門知識をもった多様な人材を非正規で多数雇用し、成り立っているようなもので、正規教員はあまり多くいないのである。

私ごとに話を戻そう。定年退職して、毎日が日曜日というわけでもないが、ある種の解放感が我が身を包んでくれている。毎日の重荷に耐えて、やっと解放されたというわけもないのだが、授業をやらなくていい、教授会を始め学内の各種の委員会にでなくてもいい、というこの責任の軽さは、清々しいというか清涼感に満たされる。国公立大学のように専門研究にもっぱら専念すればいいという羨ましい講座教授にはなりたいものだが、私立大学となると経営上そうは言っておれず、大教室の多人数学生に向けたマイク授業もしなくてはならない。研究者としてやっていける経費は、マスプロ教育による授業料収入にすべて依存しているからである。かといって手抜き授業をやっているわけではないが、少人数教育ができないという現実がある。研究と教育を両立させなければならないのである。

研究者、教育者として長年の実績を評価していただいたから、名誉教授なる肩書きを頂くことができたのだろうと推察するが、さて、どういう研究と教育をしてきたのだろう。いささか面はゆいが、地域福祉研究なるものに40年、月日を費やしてきたことへのご褒美の肩書きかもしれない。いちおう福祉学者として認めていただいたということだろう。福祉研究がいかなるものかを語るにはこのコラムだけでは足りぬが、地域社会にどうして地域福祉の実践や政策が生まれてきたのか、それはどういう必然性のなかから生じてきたのかを研究し、若い世代の学生たちに伝えてきたということにしておこう。

今日の学術研究は、理論研究から実証研究まで実に様々な研究分野が存在しているが、社会福祉学はどのような特質、性格をもっているのだろう。社会福祉学も社会科学の一領域だとは思うが、わかりやすく説明するには骨が折れる。なぜ福祉問題が社会のなかに生まれ、その福祉問題を解決する活動や事業が社会的に存在し、一定程度それらの福祉問題の解決に社会福祉制度や福祉政策は効果を上げているのかを研究する学問だと言っておこう。一般的に学問は真理の探究を行うものとされているが、社会福祉学が認識科学一般とやや異なるのは、実践の学として社会的に発生する福祉問題と福祉施策の意味や存在価値を伝えることもさることながら、第一線現場で問題解決に取り組んでいる実践家たちと協働することで成り立つ研究でなければならないと心に命じてきた。当事者と実践家に限りなく近づきながら、また一歩はなれた立ち位置から、福祉現場でなにが起き、どのように支援や援助が効果をもつのか、その真相を突きとめ、語り継いでいくという、難しい研究だと思う。

とにもかくにも、現実と微妙な距離感を保ちながら、真実を探求していく、よくも厭きずにこれまでややこしい福祉の研究者としてやれてきたなと我ながら感心する。真理の探究は終わりがない。定年退職したからといって、研究そのものが終焉するわけはない。これからは1人の福祉学者としてやり直せよと名誉の声をいただいたと思うことにしたい。

大老連　異動

区老連会長
＜退任＞
平成29年3月31日付
野村茂夫（北区老連会長）
川﨑廷（淀川区老連会長）
＜就任＞
平成29年4月1日付
北区老連会長　八十島義郎（前北区老連副会長）
淀川区老連会長　竹川浩（前淀川区老連副会長）

大老連平成29年度事業の紹介

●健康づくり推進リーダー養成講座

この講座は、各区老連において健康づくりのための高度な知識、技術を有する健康づくりの推進役となる「健康づくり推進リーダー」を養成することを目的に、平成21年度から取り組んでいるものです。

各区老連より推薦を受けた48名のリーダーの方が、豊富な内容の講座を受講されることになっており、講座を終了した皆さん方の地域での活躍が期待されます。

●シルバー教養講座

大老連では、全老連の100万人会員増強運動に応じて、平成26年度からの５か年計画として、老人クラブ１万人会員増強運動に取り組んでおり、その一環として、高齢者にとって生活に役立つ知識や暮らしを豊かにする情報等の身近なテーマについて学ぶ「シルバー教養講座」を開催しています。

●友愛募金運動推進事業　第６回大老連カラオケ大会

大老連カラオケ大会は、カラオケを通じて心身の健康づくりと会員相互の親睦を図ることを目的に開催するもので、来年１月下旬、24区老連から選抜された２名ずつの総勢48名の皆さん方が、日頃鍛えたのどとパーフォーマンスを披露されます。

「友愛募金箱」を設置して、募金を呼び掛けるとともに、企業・団体の協賛等により、「お楽しみ福引抽選会」も予定されています。

＊詳細については、定例会長会、「月刊大老連」等を通じてお知らせします。

読者割引あり
大江戸温泉物語
箕面観光ホテル
●ご予約・お問い合わせ　※ナビダイヤル（有料）※電話受付時間9:00～20:00
ナビダイヤル 0570-041266
広告コード:6238
〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1
※カーナビ検索用072-723-2324

■標準客室 料金表

消費税別	平日A	平日B	特定日C	特定日D	特定日E	特定日G	特定日L
大人4名様以上1室利用	7,980円	8,980円	9,980円	10,980円	11,980円	13,980円	18,980円
大人2・3名様1室利用	9,980円	10,980円	11,980円	12,980円	13,980円	15,980円	20,980円
小学生	5,980円			6,980円			
3歳以上幼児(寝具有)	2,980円			4,980円			
3歳以上幼児(添寝)	1,980円			1,980円			

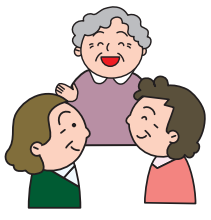
※価格は1泊2食付バイキングプランの1名様料金（サービス料込、消費税8%別、入湯税200円別）です
※平日B:金曜日（特定日を除く）、7/17、8/31、9/18　※特定日C:日曜日（特定日D以上を除く）、5/2　※特定日D:8/30　※特定日E:7/24～28・31、8/1～3・28・29
※特定日G:土曜日（特定日L を除く）、7/16・23・30、8/4・6～10・16～18・20～27、9/17　※特定日L:5/3～6、8/5・11～15・19　※組合せでお子様を大人扱いにした方が安くなる場合は大人料金を適用
※駐車場宿泊者1泊1,000円（税別）/台　※お部屋タイプはお任せとなります。お部屋をご指定のお客様はお一人様1,000円（税別）UP

日帰りでもスパーガーデン
ご宿泊のお客様スパーガーデン2日間無料（除外日あり）
全てのショーが無料で見放題!
大衆演劇・歌謡ショーたっぷり楽しめます!!
※画像はイメージです
大人気ランチバイキングセット 2,980円～（税込）
無料シャトルバス運行
大阪梅田・千里中央・北千里・阪急茨木市・JR茨木

お電話で予約の際、「月刊大老連を見た」とお伝えいただくと
H29年9月30日まで
日帰り宴会または宿泊料
500円引（税込）
※対象60歳以上の方　※1日20組限定
※他の割引・サービスとの併用は出来ません
※ご宴会の場合は切り取ってお持ちください

高齢者の元気は地域の元気

老人クラブへ大集合



—あなたも参加しませんか—

老人クラブの入会は
各区老人クラブ連合会事務局〈所在地〉各区老人福祉センター内
大阪市老人クラブ連合会事務局　☎06—4304—8555